

科目名	看護政策論 Health Care Policy in Nursing		科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	窪田和巳, 山本恵美子, 鈴木正子, 深堀浩樹, 藤野泰平		必修・選択	選択	開講年次	第1学年
					開講学期	後学期
科目概要	本科目では、わが国の看護・医療政策の形成過程及び近年の主要な政策動向を概説する。また、演習等を通じて看護・医療政策の課題解決過程を体験的に理解する。最終的には、将来の看護医療分野において、政策やビジネスの視点も含め看護専門職として自身が貢献できることを考察する。					
目標	1 わが国の看護政策の形成過程を理解する。 2 看護・医療に関連する課題を見出し、解決策を提示できる能力を養う。 3 今後のわが国の看護・医療政策に対して、自身が看護専門職として貢献できる内容を各自の立場に応じて考察できる。					
内 容	1	R6. 10. 26 (土) 1・2 【zoom】	近年の看護・医療政策動向、職能団体の役割と課題	近年の診療報酬・介護報酬改定の要点等を概説する。また政策決定における職能団体の役割と課題(日本看護協会や日本看護連盟など、諸団体の活動や今後の課題)を概説する。	山本恵美子 窪田和巳	
	2		政策を動かす方策	問題解決思考及びプレゼンテーション技法について概説する。	窪田和巳	
	3	R6. 12. 14 (土) 1・2 【対面】	看護政策過程演習①	課題の抽出・明確化(受講者が関心を持っており社会的にも解決が求められる看護・医療政策に関連した課題を抽出し、受講者間の議論により課題の内容を明確化する。)	窪田和巳	
	4		看護政策過程演習②			
	5	R6. 12. 7 (土) 1・2 【zoom】	看護・医療政策の主要概念	看護・医療政策に関連する団体や組織、重要な法改正等について概説する。	窪田和巳	
	6		看護研究の社会等への発信	看護学領域における研究の社会や政策担当者への発信について過去の事例を紹介し、今後のあり方を検討する。		
	7	R6. 12. 14 (土) 3・4 【対面】	看護政策過程演習③	課題の関連資料や研究の提示・解決策の検討(演習①・②で抽出・明確化した課題の関連資料を各受講生が検索・紹介し受講生及び講師と共有する。それらの資料に基づいて、課題の解決策を受講生間の議論により検討する。)	窪田和巳	
	8		看護政策過程演習④			
	9	R6. 12. 1 (日) 3・4 【対面】	ビジネスを通じた看護・医療分野の課題解決(概要)	看護・医療分野の課題解決としてビジネスによるアプローチの可能性について、基本理論を交えて概説する。	山本恵美子 藤野泰平	
	10		ビジネスを通じた看護・医療分野の課題解決(実例)	看護・医療分野の課題解決のためのビジネスアプローチの実例(ソーシャルビジネスの立ち上げおよび実践と社会変革への影響等)を概説する。	藤野泰平	
	11	R7. 1. 11 (土) 1・2 【対面/zoom】	看護政策過程演習⑤	解決策の洗練・プレゼンテーションの作成・リハーサル(演習①～④の内容に基づき、受講生が抽出・明確化した課題に対する提言や要望を文書及びプレゼンテーション資料の形でまとめる。	窪田和巳	
	12		看護政策過程演習⑥			
	13	R7. 1. 18 (土) 1～3 【対面/zoom】	看護政策過程演習⑦	プレゼンテーション及びディスカッション(演習⑤・⑥で作成したプレゼンテーションを元愛知県看護協会長に発表し、講評してもらう。さらに元愛知県看護協会長と受講生間でディスカッションを行う。)	窪田和巳 深堀浩樹 鈴木正子	
	14		看護政策過程演習⑧			
	15		看護政策過程演習⑨			
学修方法	1. 1コマあたり、90分以上の事前・事後の学習が必要になります。 2. 授業で使用する参考図書や資料を十分に読み込み、積極的に授業に臨むこと。 3. 授業内容への質問に対してフィードバックを行います。					
評価方法	授業への参加及び学習状況(60%)、課題学習の内容(資料・プレゼンテーション(20%)、課題レポート(20%))で評価する。					

<b>教科書 ・参考書</b>	<b>参考書：</b> 1 池上直己：「日本の医療と介護：歴史と構造、そして改革の方向性」，日経BPマーケティング 2 見藤隆子，石田昌宏，大串正樹，北浦暁子，伊勢田暁子：「看護職者のための政策過程入門第2版」，日本看護協会出版会 3 田中一成：「9割の社会問題はビジネスで解決できる」株式会社PHP研究所 4 駒崎弘樹：「社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門」株式会社PHP研究所 5 杉田浩章：「リクルートのすごい構創力ーアイデアを事業に仕上げる9メソッド」日本経済新聞社
<b>履修上の 注 意 点</b>	看護政策過程演習の進行に際して不明な点があれば随時教員がe-mailで対応する。 窪田和巳： <a href="mailto:kkubota@m.u-tokyo.ac.jp">kkubota@m.u-tokyo.ac.jp</a> 、深堀浩樹： <a href="mailto:hiroki.fukahori@gmail.com">hiroki.fukahori@gmail.com</a> 、 藤野泰平： <a href="mailto:f.yasuhira@gmail.com">f.yasuhira@gmail.com</a>
<b>オフィスアワー</b>	山本恵美子：水曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階 N371